

平成 29 年 11 月 2 日

平成 30 年度近畿地区安全大会を開催致しました

平成29年10月27日大阪市北区ホテル阪急インターナショナルにて、三浦一志 天満労働基準監督署長をはじめ多くの協力会社、当社社員出席のもと『平成30年度近畿地区安全大会』を開催しました。

栗原工業(株) 平成 30 年度安全スローガン

見えない危険 見つける努力

一步先読む危険予知

意識高めてゼロ災職場



安全大会

栗原工業 安全防止に奇策なし

栗原工業と同社安全協力会は27日、大阪市北区のホテル阪急インターナショナルで18年度近畿地区安全大会を開いた。写真、大阪本店や大阪南支店、神戸支店、工務本部、協力会社などから約300人が出席し、災害の撲滅を誓い合った。

栗原信社長が「現場は人手不足や厳しい工期などに直面し、作業リスクが増

大する状況にある。労働災害を防止するに奇策はない。一人一人の意識を高め、安全な作業を実施すること、でしか災害防止はし得ない。凡事徹底。安全第一と事故防止、現場管理を徹底し、底底明い職場づくりに取り組んでほしい」とあいさつした。

同社大阪本店安全協力会の前田寛会長は「無災害の一日を積み重ねること、大切。労働防止に特別はない。19年度、栗原工業は創立から100周年。この年に無事故・無災害を迎えられたい」と呼び掛けた。

安全表彰に続き、天満労働基準監督署の三浦一志署長が「今年は死亡災害が多発し憂慮すべき状況にある。依然、墜落転倒災害が多い。安全帯の使用を徹底すると共に、現場状況の変化に応じた作業手順の再検討などを進めたい」と語り、

建設工業新聞 2017. 10. 31

安全大会

意識改革・凡事徹底

栗原工業 安全防止に奇策なし

栗原工業と同社安全協力会は27日、大阪市北区のホテル阪急インターナショナルで18年度近畿地区安全大会を開いた。写真、大阪本店や大阪南支店、神戸支店、工務本部、協力会社などから約300人が出席し、災害の撲滅を誓い合った。

栗原信社長が「現場は人手不足や厳しい工期などに直面し、作業リスクが増

大する状況にある。労働災害を防止するに奇策はない。一人一人の意識を高め、安全な作業を実施すること、でしか災害防止はし得ない。凡事徹底。安全第一と事故防止、現場管理を徹底し、底底明い職場づくりに取り組んでほしい」とあいさつした。

同社大阪本店安全協力会の前田寛会長は「無災害の一日を積み重ねること、大切。労働防止に特別はない。19年度、栗原工業は創立から100周年。この年に無事故・無災害を迎えられたい」と呼び掛けた。

安全表彰に続き、天満労働基準監督署の三浦一志署長が「今年は死亡災害が多発し憂慮すべき状況にある。依然、墜落転倒災害が多い。安全帯の使用を徹底すると共に、現場状況の変化に応じた作業手順の再検討などを進めたい」と語り、

建設通信新聞 2017. 11. 01

安全・安心の職場環境へ一丸

栗原工業「平成30年度近畿地区安全大会」

栗原工業と同社安全協力会は27日、大阪市北区のホテル阪急インターナショナルで平成30年度近畿地区安全大会を開いた。写真、大阪本店や大阪南支店、神戸支店、工務本部、協力会社などから約300人が出席し、災害の撲滅を誓い合った。

栗原信社長が「現場は人手不足や厳しい工期などに直面し、作業リスクが増

大する状況にある。労働災害を防止するに奇策はない。一人一人の意識を高め、安全な作業を実施すること、でしか災害防止はし得ない。凡事徹底。安全第一と事故防止、現場管理を徹底し、底底明い職場づくりに取り組んでほしい」とあいさつした。

同社大阪本店安全協力会の前田寛会長は「無災害の一日を積み重ねること、大切。労働防止に特別はない。19年度、栗原工業は創立から100周年。この年に無事故・無災害を迎えられたい」と呼び掛けた。

安全表彰に続き、天満労働基準監督署の三浦一志署長が「今年は死亡災害が多発し憂慮すべき状況にある。依然、墜落転倒災害が多い。安全帯の使用を徹底すると共に、現場状況の変化に応じた作業手順の再検討などを進めたい」と語り、

大阪建設工業新聞 2017. 10. 31

